

# 丹波篠山 市議会だより

No. **116**  
2025.10



## 作品介绍

篠山養護学校高等部では、作業学習で商品の企画、製作、販売までを生徒たちの手によって行っています。王地山焼の箸置きは、アイデアを活かした新デザインも豊富に取り揃えています。さをり織のコースターは、配色を工夫しながら丁寧に織り上げた生地で仕上げられています。商品の一つ一つに心を込めて製作しています。

今回の作品は、格子状に配置したコースターの間に箸置きを2個ずつ入れデザイン化したものです。

- 一般質問14人が登壇 P4～10
- 議会報告会を開催します P11

次回の会議は12月に開催します。

【第126回 師走会議】

11月27日(木) 本会議(第1日)

議案提案 他

12月10日(水) 本会議(第2日)

一般質問 他

12月11日(木) 本会議(第3日)

一般質問 他

12月19日(金) 本会議(第4日)

委員長報告 他

(常任委員会・分科会)

○予算決算委員会分科会

補正予算審査

11月28日(金) 総務文教

12月 1日(月) 民生福祉

12月 2日(火) 産業建設

12月16日(火) 全体会

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越しください。なお、市のホームページ(YouTube)でも本会議を中継します。また、市役所本庁舎(1階ロビー・4階議場前)に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です(リアルタイムのみ)。

※傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議会事務局へご相談ください。

※市議会だよりに対するご意見や感想は、下記までお寄せください。

TEL (079) 552-6855

FAX (079) 552-7104

gikai\_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第116号

令和7年10月21日発行

編集・発行

丹波篠山市議会広報特別委員会

堀毛宏章・本多紀元・金崎美和

前田えり子・降矢杏奈・大内正博

〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41番地

TEL (079) 552-6855

丹波篠山市議会 検索

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE  
OIL INK

環境にやさしい  
植物油インキを使用しています。

## クイズに答えて図書カード!!

問1

表紙の箸置きは何焼?

- ①丹波焼 ②九谷焼
- ③王地山焼

問2

「丹波篠山市民の日」は何月?

- ①4月 ②8月 ③11月

ヒント: 補正予算のページ

問3

ふれあい子ども議会教室に参加した児童の人数は?

- ①7人 ②16人 ③30人

答えはすべて「紙面の中」にあります。

応募方法

官製はがきに「答え」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りいただくか、下記の二次元バーコードからご回答ください。正解者の中から抽選で15人の方に「図書カード」をプレゼントします。

☆あて名 〒669-2397

丹波篠山市北新町41番地

丹波篠山市議会 議会事務局 応募フォーム



☆締切日

令和7年11月21日(金)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」のスペース(空白)に「議会だより」に対するご意見や感想をお聞かせください。

※「はがき」にご記入いただいた個人情報は、目的以外に一切使用いたしません。

※クイズの答えは次号に掲載いたします。また、当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

## まらなみ

今年も観光客は好調のようだ。酷暑の7、8月でも、秋の味覚を求めるにはやや早い9月でも、無電柱化された河原町通りの来客は大幅に増えているとのこと。大変ありがたいことだが、安全確保の対策も万全に。(堀毛)

DXとかAIとかペーパーレスとかの質問しかしないので、「紙つかってごめん」ってよく言われます。紙アレルギーとかではないので使ってもらって大丈夫です。私も企画を練るときはあえて紙に書くし、本は紙で読みたい派です。(本多)

ユネスコ創造都市ネットワーク加盟から丹波篠山市は今年で10年。9月の国際会議ではクラフト&フォークアート分野の都市を招き、交流を深め丹波篠山の魅力を発信し、学び多き機会となった。(金崎)

65歳以上が人口の29.4%。社会の高齢化は、医療技術の進歩や食生活の改善などで死亡率が低下した結果であり喜ばしいことだ。医療や介護、公共交通など充実し、安心して住み続けられる丹波篠山市でありますように。(前田)

「こうあるべき」という発想を脱ぎ捨てたい。当たり前を変えることで、新たな可能性に出会い、停滞した未来を塗り替える一歩になると信じて。(降矢)

稲刈りも終わり、秋の深まりを感じる季節となりました。今年は米価の高騰に加え、餅米が品薄で高値となっています。お正月に欠かせない鏡餅やお雑煮の準備も、少し早めの準備を心掛けてはいかがでしょうか。(大内)

広告

各種建築板金工事(屋根・外壁・雨樋) / 一般土木工事(基礎・埋立・造成)  
内装工事(軽天・木工事、各種造作全般) / 解体工事(木造・鉄骨・RC解体)



馬場板金

建設業許可 / 兵庫県知事許可 第752258号  
産業廃棄物収集運搬業 / 兵庫県知事許可 第02808152412号

TEL 079-557-0560

FAX 079-506-4535

〒669-2504 兵庫県丹波篠山市西野々28

広告

軽自動車  
買取強化中!

動かないお車も  
喜んで買取ります!

詳しくは  
☎0120-338-196

市内全域出張査定無料

HPからのお問合せはこちら

福山オートセンター

〒669-2202 兵庫県丹波篠山市東吹830  
(営業時間 9:30 ~ 18:30 定休日 毎週火曜日)

# 長月会議で可決した条例改正

## ■議案第52号 丹波篠山市こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の施設を一部改修し、国土交通省が認定する道の駅に登録するにあたり、所要の改正を行い、併せて、温浴施設の入浴料について、近年の燃料費の高騰などの理由から上限額の見直し(800円→1,000円)を行うもの。

**問 入浴料の上限を1,000円まで上げた理由は。**

**答** 近隣の温浴施設の料金を調べた結果、およそ700円から1,000円であった。なお、入浴料を直ちに1,000円に引き上げるものではない。

**問 名称を「こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」から「道の駅こんだぬくもりの郷」へ変更することについて、温泉という文言を抜いた理由はなにか。**

**答** 今の「こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」では長いという意見があり、「こんだ」と「ぬくもりの郷」は切り離せないと考えたため。

質疑終了後、産業建設常任委員会で討議を行い、施設の名称について協議した結果、改めて審査を行うことになった。審査の結果、委員会として「道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷」に修正する案を提出、本会議において全会一致で可決した。

## ■議案第53号 丹波篠山市農業集落排水施設及びコミュニティ・プラント排水施設条例等の一部を改正する条例

能登半島地震において、多くの家庭で宅内給排水設備が破損して使用できない状況が長期化したため、国土交通省からの通知により、災害その他非常の場合においては他の市町村等の指定工事業者でも工事が行うことができるように条例等の改正を行うもの。

## ■議案第54号 丹波篠山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

選挙管理委員会の会議において、定足数に満たない場合の補充員に対する報酬額を定めるもの。

## ■議案第55号 丹波篠山市議会議員及び丹波篠山市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び丹波篠山市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

物価の変動等に鑑み、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正、公職選挙法施行令の改正があったため、同法律及び同政令の基準に即して、所要の規定改正を行うもの。

# 長月会議で可決した補正予算

長月会議では、議案第56号～第61号の補正予算を予算決算委員会に付託し、各分科会で審議のうえ、9月25日会議で可決しました。

9月2日会議 9月25日会議



## ≪補正予算の概要≫

議案	議題	目的	補正額
56号	令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算(第6号)	市税の増額および事業の追加・変更等に伴う経費の増減	2億180万3千円
57号	令和7年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	保険給付費等交付金償還金等一般被保険者保険税還付金	事業勘定1,345万8千円 診療所勘定489万6千円
58号	令和7年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	後期高齢者医療保険料等負担金等	1,933万5千円
59号	令和7年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	介護給付費準備基金積立金介護給付費償還金等	介護保険事業勘定1億2,983万7千円
60号	令和7年度丹波篠山市水道事業会計補正予算(第1号)	資本的収入中、企業債の一部1億400万を出資金に組換え等	収益的収入124万8千円、収益的支出△1,418万1千円、資本的支出160万4千円
61号	令和7年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算(第1号)	支払利息等	収益的収入249万4千円 収益的支出644万6千円

## ≪主な質疑応答≫

議案	予算項目・金額	質疑	回答
56号	市民税・固定資産税 7,500万円	市民税と固定資産税の増額補正の要因は何か。	市民税は給与所得の伸びによるもの、固定資産税は企業業績の好調さが設備投資の増加に繋がっていることから増額とした。
	ブランド戦略事業 74万円	名誉市民・河合雅雄先生を顕彰するブランド戦略事業の日程と内容は。また、「NHK朝の連続テレビ小説」誘致の可能性について。	河合雅雄先生に関するイベントとして、11月の「丹波篠山市民の日」の記念事業として実施し、また、先生の研究活動を顕彰する講演会を年明けに開催する。「NHK朝の連続テレビ小説」については、「誘致推進協議会」を組織、企画書ができればNHKへ申し入れに行く。
	産科救急医療対策補助金(下半期分) 900万円	これまでより年間で300万円の増額になるが、市内に住まれている妊婦の方の3割程度の利用に留まっている。分娩数増加への対策は。	市内唯一の分娩医療機関を守っていくための補助金で、助産師の件費として使用いただく。身近なところで出産できるメリットについて、市内の妊婦の皆さんに伝わるようにしていきたい。
57号	一般保険者保険税還付金 150万円	一般保険者保険税還付金の具体的な理由は何か。	過年度に資格喪失されていた方への還付金や誤って二重納付されていた被保険者への還付金などである。
58号	後期高齢者医療広域連合納付金 1,885万円	後期高齢者医療広域連合への納付金増額の理由は。	増加の原因は、75歳以上の被保険者が増えたことと令和6年度に保険料の改定があったためである。
60号	資本的収入の組換えによる 1億400万円	国の交付金が1億400万円増額された。水道管路改修計画の変更は。	年間3～4kmの管路更新を計画しているが、財政面を考慮し、計画どおり進めていきたい。

## ～賛否の分かれた議案等の公開～

議席番号 議員名 議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	金 美 和	原 豊 彦	本 多 紀 元	堀 毛 宏 章	岡 圭 子	荒 木 礼 子	桐 村 裕 一	小 畠 政 行	隅 田 雅 春	前 田 え り 子	渡 辺 拓 道	稲 山 悟	降 矢 杏 奈	野 々 村 康	安 井 博 幸	大 内 正 博	向 井 千 尋	上 田 英 樹
第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—

※○は賛成、×は反対。 ※上田議員は議長のため、採決には加わっていない。  
※条例名・予算名は紙面の都合により省略しております。

### 【反対討論】

• 国の現状から乖離した条例改正に地方が唯々諾々と従うのではなく、不正が働きにくいようにポスターの公費負担上限を下げるように条例を改正すべきである。国が改正したからと安直に追随して選挙ポスターの公営単価を引き上げるのは、地方自治の根幹を蔑ろにするものと考え、この改正案に反対する。(安井)

### 【賛成討論】

• 今回の改正は、昨今の物価の変動等に鑑み、衆議院議員及び参議院議員の選挙における選挙運動に関し、選挙運動用ポスターの作成等の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことを受け改正されるものである。また、立候補の機会均等を図るため、ポスター作製費用は公費支払いとなっており、ポスターを作製する際の企画や技術、知識を持たない方でも立候補の機会等を得るために必要と考える。(野々村)



- 1. 医療的ケア児への切れ目のない支援体制を
- 2. 自転車通学の安全対策について
- 3. 放射性医薬品の安全性について



**問1 医療的ケア児(※)やその家族が学校卒業後も丹波篠山市で安心して暮らし続けるため、切れ目のない支援が必要である。生活介護事業所の看護師等を確保するためにも、市の補助制度が必要だと考えるがどうか。**

自立支援協議会「医療的ケア部会」において、特別支援学校卒業後も切れ目なく支援ができるように、行政、小児科医、福祉事業所、学校等と共に協議を重ねてきた。その結果、本市の医療的ケア児は本市の生活介護事業所で受け入れていくことで確認している。補助制度についても検討していく。

**問2 安全な自転車通学のために、国が進めている「市町村自転車活用推進計画」を策定し、自転車通行空間の計画的な整備やヘルメット着用等の安全対策に取り組むことが必要であると考えがどうか。**

「通学路安全プロジェクト会議」において検討し、安全対策を実施している。「自転車活用推進計画」の策定については、現状把握に努め、検討していく。ヘルメット着用については、市内高校が県のモデル校になっており、

ヘルメットの寄附も受けているので、啓発を推進していく。

**問3 市内の製薬会社で次世代がん治療薬とされる放射性医薬品の製造準備が進んでいる。万が一の事故や災害時の対策が必要ではないか。また市と会社による協定において、情報公開や市民との協議の場が必要であると考えがどうか。**

安全対策については、説明会を開催し、真摯に取り組んできた。万が一の事故や災害時の連絡体制等を確立していく。協定についてはすでに締結しているが、市民の声を聞きながら改定をしていきたい。

(※)医療的ケア児(者)とは  
人口呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童(者)



- 1. 西紀運動公園温水プール施設環境整備について
- 2. 高齢者への補聴器購入費助成について



**問1 西紀運動公園で行われているスイミングスクールは、生後6か月からのベビークラスの設定があり、利用者は年々増加傾向である。しかし、更衣室にあるトイレやシャワー室にはベビーチェアが設置されておらず、ベビーベッドは女子更衣室に一台あるのみで、子どもの安全確保が可能な器具の導入が必要ではないか。誰もが安心して利用できる施設とするため、利用者目線に立った設備整備が求められていると考えがどうか。**

現在、女子更衣室と議員の指摘を受け設置した男子更衣室にそれぞれベビーベッドを設置しているが、トイレ、シャワー室には設置がない。ベビーチェアを男女のトイレに設置することに向けて指定管理者と協議のうえ、検討する。



70歳代では多くの人が聞こえづらさを感じて生活しているとも言われているが、本市の補聴器助成は18歳までが対象である。県内外では65歳以上を助成する自治体が増加していることに加え、認知症やフレイル予防の観点からも早期対応が重要である。本市においても65歳以上を対象に加えるべきと考えがどうか。

県内市町の事業実施効果の評価結果や、事業費の経年推移を注視しながら、既存の福祉施策の精査、財源の確保や事業の優先順位等を検討していきたい。

**まずは生活支援が必要な一人暮らしや低所得世帯の方を優先的に補助するなど、段階的な導入を考えてはどうか。**

県内の実施状況をみながら今後検討を進めたい。



- 1. 職員の職場環境整備について
- 2. 「丹波篠山演劇祭」開催の可能性
- 3. 「気象アドバイザー」の導入を



**問1 カスハラ対策としての職員名札表示の変更に係る検討状況は。**

来年度から氏の名のみに表示に変更する。  
**週休3日制度導入に向けた検討状況は。**  
全国的にも週休3日制を導入している地方自治体はまだ少ないが、引き続き国や先行自治体の取組状況等を参考にしながら研究を行う。

**職員や市民への兼業制度の周知状況は。**  
黒豆サポーター職員制度は全職員に周知している。黒豆サポーター以外でも、自治会等の役員、農業生産、研修会行使などで職員が広く活躍しており、毎年20~30件の兼業がある。

**窓口業務の時間短縮に向けた検討状況は。**  
来年度から開庁時間を「午前9時から午後5時まで」の時間短縮を導入できるよう取り組む。

**「人材育成基本方針」の見直しを。**  
最終案を取りまとめているところであり、年内に策定する予定である。

**問2 丹波篠山市の文化資産を活用した演劇祭の開催や演劇授業の導入を。**

丹波篠山市広範囲で奥深い様々な芸術文化、地域文化が市民の主体的な取り組みの中で継承されている。ミュージカルや演劇をはじめ、幅広い多彩な芸術文化活動を広い視点で支援し、さらに発展昇華させていきたい。  
演劇的手法を取り入れた授業と同様の力の育成は、現在取り組んでいる様々な教育活動を通じても育成できると考えている。



**問3 気象防災アドバイザー活用で災害への早期対応を。**

神戸気象台との連携により、避難所開設などの初動体制を検討している。



- 1. 小5の学力低下と市教育委員会のガバナンスを問う
- 2. 我が市の医療の方向性を問う
- 3. 市公共施設の国旗・市旗掲揚の適切化を



**問1 丹波篠山市の小学5年生の学力が大幅に低下した原因と対策を問う。**

様々な観点から課題や改善点の分析を行っている。基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力、学びに向かう力の習得等に向けた取り組みを進める。

**丹後教育長の下に3人の部長職が配置されているが、組織としてガバナンスに問題があるのではないか。**

教育委員会の組織運営はトップダウンではなく、目指す目標や方向性を示し、各部署や学校園の現場が趣旨を理解し、自分で考え取り組んでいくやり方を大事にしている。

**8月の異動で、教育研究所長が小学校教頭へ転出、学校教育部次長が所長を兼務することとなった。教育研究所の機能低下を危惧するが、今後どうするのか。**

次年度スタート時には所長を配置できるように協議していきたい。

**問2 市内の病院にどのような診療科目を残し、何を市外に委ねようと考えているのか。**

市内にある全ての診療科目は、市にとって必要と考えている。心臓や脳疾患などの緊急・高度な治療や手術が必要なものは、市外の医療機関に対応してもらう。

**問3 国旗は「破損・汚れた状態での掲揚を禁じ、雨天や日没後の掲揚も原則行わない」と国の規定にある。国旗・市旗が風雨等で損傷していたので適切な管理をすべき。**

旗の交換は年1回を目安に実施している。国旗・市旗掲揚については、定期的な点検を行い、状況に応じ随時交換することで適切な管理に努める。



損傷した状態の国旗・市旗が掲揚されていた



1. 市の農業施策と農村の維持について  
2. 農業用水の渇水対策について



問1 新規農業者が必要とする情報の提供体制の構築を。

SNS等を通じ周知、啓発を行っているが、引き続き農業者が情報収集しやすい方法を検証し、わかりやすい情報提供ができるように取り組む。

農地保全と活用に向けた話し合いの場づくりを。

市・農業委員会・JAが連携し、「規模を拡大したい農業者」と「農地を預けたい方」のマッチングを進めている。規模拡大を目指す農業者が希望する集落での話し合いの場へ参画できるような環境整備に取り組む。

儲ける農業経営のためのフォーラム開催を。

農業経営に関する知識や成果を上げている事例を共有できる機会を設け、農業者の意欲向上につなげる。

問2 ため池の改修工事費等への現在の支援状況は。

ため池整備事業は、国庫補助事業を活用した場合、地元負担金はゼロ。また、市独自の「土地改良補助金」制度では、工事費が1か所10万円以上の場合、工事費の80%を支援している。(上限200万円)

農業用水としての地下水活用に係る工事等への支援状況は。

井戸の更新などに1か所10万円以上の工事費がかかる場合、工事費の30%を支援している。(上限60万円)

河川の水を更に農業用水として利用できないか。

河川からの取水について、管理者(国、県、市)と協議及び許可が必要である。

今後、鏗市ダム水系の渇水対策については、兵庫県丹波県民局篠山土地改良事務所が主導で地域の関係者を交えて検討を。

また、鏗市ダムの貯水率、ダムからの放流量について、受益者に確かな情報が届くような取り組みを。

ダムの放流量は河川法から流入量が一定を下回ると貯水できず放流せざるを得ない。効率的な貯水や冬の時期に水田への湛水(たんすい)といった工夫が必要。兵庫県からの指導のもと、篠山土地改良協議会などと連携し、安定的な用水利用に取り組んでいく。



1. 学校トイレに生理用品設置を  
2. 学校給食の無償化を



問1 学校トイレに生理用品設置を。

衛生面での心配や管理・補充方法の課題、普段から自分で常備する習慣が身につかないという懸念がある。

生理に関わる心身の不調や悩みを「相談につなげる」という観点から保健室での配布と、多様な配慮のあり方としてトイレ設置と柔軟に対応すべきではないか。

現時点において、保護者や生徒からの要望・意見はなく、今まで同様、保健室での配布が望ましいと考える。

初期費用無償のモデル事業としてレッドボックスジャパンと連携し、市内の学校で生理用品の無償提供を始めてはどうか。まずはアンケートでニーズを把握し、実施の必要性を検討してはどうか。

現場の養護教諭や子どもたちの声を大切にしながら、検討していきたい。

公共施設に生理用品の設置は、女性のライフステージ

全体を支えるためのセーフティーネットとして捉えるべきと考え、公共施設への設置も求む。

今後、他市の先行事例を調査研究していく。

問2 令和7年度よりはじめた学校給食の半額補助は、次年度以降の財源確保の見通しがなく、この取り組みを継続または無償化するため、どのように財源を確保していくのか。

市としては、給食費無償化の取り組みをはじめたので、少なくとも令和8年度以降も今年度以上の取り組みをしていきたい。

現在、市の様々な事業や人の配置等を見直している。給食費無償化を実現するには、多額の費用がかかるため、今後、本市の財政状況を見ながら、できるだけ充実を図っていききたい。



本市の人権施策(住民学習・多文化共生)について



問 本市の住民学習は50年に渡り、各自治会で連続と続けられてきた。市民の皆さんは、人権を守り尊重する気概が強い。住民学習は、これからも継続してほしい。また、この半世紀を契機に、これまでの取り組みを検証してはどうか。

自治会の住民学習が50年続けられてきたのは、市民の皆さんの人権意識の高さにある。今後も継続していく必要があると考えている。また、住民学習の検証については、令和8年度に「人権に関する意識調査」を実施する中で、現状を調査、分析するとともに課題なども検証していきたい。

2027年より、外国人就労制度の「技能実習」が「育成就労」に替わる。この制度変更による本市外国人就労者の動向について見通しは。

制度変更によって外国人就労者がより働きやすく定着への環境整備が進むことから、就労者は増加につながると期待している。各企業に問い合わせたところ、まだ計画策定までには至っていないということだった。

現行の「外国人市民共生会議」と「多文化共生推進基本方針検証会議」の二つの組織を合体し、多文化共生を推進できるような一つの組織にしてはどうか。

それぞれの目的に違いはあるが「多文化共生推進協議会(仮称)」のような一つの組織にして推進できないか、委員にも聞いて検討したい。

多文化共生促進のカギは、意思疎通・コミュニケーションにあると考えるが、どんどん多国籍化が進むと、生活情報などの多言語化にも限界がある。「やさしい日本語」による会話や情報提供が大切ではないか。

外国人市民への生活支援では、日本語学習、多言語対応、通訳事業などを実施しているが、併せて、言葉遣いや表現そして文章の長さなどに配慮し、簡潔でわかりやすい「やさしい日本語」での対応を庁内でも研修を実施し推進している。また「やさしい日本語」の使用を、地域や企業、病院などにも拡がるよう働きかけていきたい。



1. 持続可能な農村を形成する仕組みづくりについて  
2. 補助金制度の整理・集約・工夫について



問1 農村の暮らしや営みを維持・再生していくための市の基本的な考え方は。

多様な担い手の育成、将来像として、集落や農業、農地の在り方が明確になり、多様な農業者が連携してそれぞれの役割を果たす営農組合や大規模農家、小規模農家含めて多様な担い手が力を合わせて、持続可能な農業の実現を目指す。

農村RMO(※)の導入と支援を。

まちづくり協議会に農業農村分野でもさまざまな取り組みをしていただくことで、国の目指す農村RMOと同じようなことが期待できると思う。国の農村RMOに認められると補助制度や有利な点があるので、まちづくり協議会などに情報提供を行って、モデル的に取り組むところがないか検討する。

行政の伴走支援と人材配置を。

農村RMOを進めるにあたり、市の関係部署に加え、兵庫県や外部団体との連携が必要になる。地域おこし協力隊などの外部人材には、現在も活躍いただいているの

で、これからも連携して取り組んでいきたい。

問2 本市における補助金の重複交付の実態は把握されているのか。

類似補助制度を活用しての重複交付は無いものと考えており、また類似補助制度については統廃合も含め検討し決定することとしている。

補助金交付のチェック体制はどのように機能しているのか。

補助金の交付に当たっては、交付の公平性や公益性を明確にするための基準が必要である。このため交付規則及び要綱において、目的や要件を定め、交付後の報告書などにより、その適性を図っている。

(※)農村RMOとは  
複数集落が連携して農地保全、地域資源の活用、生活支援等を行う運営組織。



1. だれひとり取り残さない熱中症対策について  
2. 駅の利便性向上と賑わい創出に向けて



問1 現在、公表されている各種資料などをみても、気候変動および地球温暖化が良い方向に向かう兆しは確認できなく、日本では“より厳しい夏”が来ることを前提に、社会全体で適応策を進めていくことが必要ではないか。現状を踏まえ、次の夏に向けての対策を提案する。

①市内の熱中症による救急搬送の状況は。②公共施設や郵便局などを「ひと涼み処」に指定しているが、入口の張り紙だけでは分かりにくい。三田市や丹波市ではノボリやチラシを作成しており、市独自のノボリやチラシを作成してはどうか。③環境に優しい暑さ対策として、人の行き来が多い駅の周辺やバス停などにミストシャワーを設置してはどうか。④自治会、まちづくり協議会などでは熱中症対策をとりながら夏まつりなどを開催されている。少しでも安心して開催できるよう、ミストシャワーを貸し出す制度を設けてはどうか。

①熱中症搬送者は、令和2年37人、令和3年32人、令和4年41人、令和5年55人、令和6年74人、令和7年は8月31日現在67人で、令和4年から増加傾向にある。②

ポスターの掲示だけでは開設場所が市民に分かりにくいので、三田市、丹波市を参考に検討していく。③市内でのミストシャワーの設置については効果的な設置場所なども含め、今後、研究していく。④ミストシャワーの貸出制度についても三田市の例をみながら検討する。



問2 全国のいろいろな駅では、にぎわい創出、魅力発信、来訪者へのおもてなしなどを目的として、駅の階段を美装化する「階段アート」に取り組まれている。市内にあるJRの5駅でも「階段アート」に取り組んではどうか。

駅には地域活性化や賑わいづくりなども期待されるようになってきており、各地で駅舎等を活用したまちづくりが進められている。階段アートや、それ以外の活性化、賑わい策を含め、地域の皆さんに提案するなどして検討していく。



1. 市政30周年・市名10周年の活性化イベントとは？  
2. 教育現場の三角座りが発育発達に与える影響



問1 市政30周年・市名変更10周年のダブル周年を見据え、篠山城大書院を舞台に藤井聡太氏を招いたタイトル戦・特別対局・関連プログラム(指導対局、こども教室等)を核に、子どもも大人も楽しめる企画を催し、観光・経済・教育の振興を図れないか。

4年先のことであるため現時点で決定はできないが、周年事業の一案として検討したい。誘致には相応の経費と条件があり、課題整理が必要である。

今回の丹波篠山国際博も実行委員会や準備に3年を要しており、早めの対応が必要。市民参加型の勝負めしの開発や丹波篠山の食の魅力の発信によって、経済効果が経費を上回ることも期待されるがどうか。

大変良いと思う。自分の地域の良さを見つめ直して、丹波篠山の素晴らしいものがさらに全国に認知されることは意義があり、素晴らしいものだと思う。

問2 三角座り(体育座り)は合理的配慮の観点から、また長時間姿勢を維持することで呼吸機能や集中力などに悪影響を及ぼすため、一律実施を再考できないか。

体育の授業に限らず、体育座りを唯一の姿勢として強いる指導は、身体的負担の観点から適切ではないと考える。



子どもに姿勢の統制を重んじることが本当に必要なのか、それとも話を聞き、理解につなげることを重視すべきか。また「自由にしていよ」と言われても戸惑う子どもには、どのように伝えるのが適切か。この点を整理し、教育現場に分かりやすく示すことはできないか。

児童生徒自身がしんどいと言える雰囲気作りが大切であり、今後は話を聞くための姿勢を大切に、柔軟に適切な対応をしていく。



市役所業務における生成AIの活用推進について



問 近年、生成AI(ChatGPT等)の活用が自治体で進んでおり、議事録作成や文書起案で作業時間を3~5割削減した事例もある。本市でも導入すれば、年間5万時間・約2億円(※)相当の効果が見込まれる。生成AIの現状認識と課題、導入方針を伺う。

生成AIは文書作成や住民対応など幅広い業務に有効で、市民サービス向上が期待される。県内でも22市町が導入済みで、本市も有償版の導入を視野に情報収集中である。ただし、誤情報や個人情報流出のリスクがあるため、ガイドライン整備や研修が不可欠である。まずは文書作成や会議録要約などで試験導入し、効果を検証する。

DXの取組は進んでいるが、時間外勤務は依然多く、業務削減には結びついていない。生成AIについても、効果を数値で示すべき。

AI導入により業務全体が減るとは限らないが、RPA(業務自動化)では年間2,000時間の削減実績があり、生成AIも同様に効果を整理していく。

生成AIは時間削減に加え、上司への質問待ちの解消や、異動職員の知識習得にも役立つ。今回の通告書はChatGPTで作成したが、チェックを経て効率的に仕上げている。市でも前向きに活用していただきたい。

生成AIはDX推進を加速させる有効な手段である。AIが叩き台を作成し、人が仕上げる形で運用を想定している。初期費用は業務効率化や職員スキル向上により十分回収できると考え、導入を検討する。

(※)概算根拠  
議事録作成や文書起案の作業時間が週に5時間あると仮定した場合  
生成AIによって4割削減 → 週2時間削減  
週2時間×年間50週×500名=年間50,000時間  
職員1時間あたりの費用を4,000円と仮定すると  
4,000円×50,000時間=2億円



1. 災害時相互応援協定等の応援計画骨子策定について  
2. 「感震ブレーカー」の助成制度について  
3. 教育委員会の学校園安全対策と熱中症対策について



問1 南海トラフ大地震の30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられた中、被害が甚大とされる愛媛県愛南町、高知県宿毛市や大阪府泉佐野市等と締結した災害時相互応援協定等に関して、事前に具体的な応援計画骨子の策定が必要ではないか。

民間企業や団体の防災協定も踏まえ、可能な対策を想定しておくことが、「応援計画骨子」になると考える。

可能な対策とは、具体的にどのようなものか。  
電子データのやり取りやその代行、地元から阪神間の被災地に来られている方々の安否確認や支援及びその中継局となるようなこと。また、情報共有と連絡体制の構築が重要と考える。

問2 東日本大震災における火災原因の過半数が電気設備関係の出火であった。それを防ぐ方法として有効な「感震ブレーカー」の設置支援制度の創設を。

まずは感震ブレーカーの必要性について周知を行う。助成制度は国・県の政策動向を注視しつつ検討していきたい。

感震ブレーカーの設置は住宅リフォーム助成制度の対象となるか。

リフォーム助成において、工事を伴う場合は対象であるが、事前に相談いただくことが確実と考える。

問3 教育委員会における学校園の安全対策について「生命に危険、あるいは重度の恒久的な障害をもたらすハザードがある状態」の遊具を1年間放置したことは重大な過失であり、組織改善が必要ではないか。

学校現場を含め、迷惑をおかけし反省している。外部の力も借りて研修等を行い、気持ちを締めたい。

子どもたちに有効な熱中症対策がなされていない。配布している冷却タオルが利用されていない状況を把握されているか。

現状を調査していないので、把握できていない。組織を立て直して、子どもたちが安全で安心して過ごせる学校現場となるよう、取り組んでいただきたい。

今いただいた言葉をしっかり胸に受け止めて、子どもたちの安全安心のために頑張っていく。

### ふれあい子ども議会教室

8月6日(水)、7日(木)に市内の小学5、6年生を対象にふれあい子ども議会教室を開催しました。2日間で計16名の児童に参加いただき、議会フロアの見学や議員との「ふれあいトーク!」等を通じて、市議会の役割や仕組みを知ってもらえる機会となりました。

閉会時には、本会議場で参加者1人ずつに今日学んだことや感じたことについて発表してもらい、様々な意見や感想を聞かせていただきました。

来年度も市民により身近な議会を目指して、取り組んでいきたいと考えておりますので、ぜひ多数のご参加をお待ちしております。



### 丹波篠山市・丹波市 合同研修会を開催

7月18日、丹波篠山市内において丹波市・丹波篠山市議会合同研修会が開催されました。

丹波健康福祉事務所長が「兵庫県保健医療計画・兵庫県地域医療計画」について説明、丹波圏域地域医療構想検討会議・議長から丹波圏域における「地域医療の課題と医師会の取り組み」についての講演をいただきました。

地域で起こっている医療・介護の問題や医療機関の連携などについて話された後、議員間で意見交換を行いました。



### 議会報告会(後期)を開催します

丹波篠山市議会では、議会活動の内容を報告するとともに、市民の皆様からの意見をお聞きし、市政に反映していくことを目的に議会報告会を開催しています。多くの市民に参加してもらいたいという意思のもと、「テーマ型」で行います。皆様の参加をお待ちしております。

**開催内容 第1部 6月及び9月定例会報告動画・質疑応答**

**第2部 「各テーマ」についての意見交換(ワークショップ)**

**出席者 1班** ◎原田豊彦、安井博幸、本多紀元、前田えり子、野々村康、向井千尋  
**2班** ◎稲山 悟、岡 圭子、堀毛宏章、桐村裕一、小島政行、降矢杏奈  
**3班** ◎荒木礼子、隅田雅春、金崎美和、渡辺拓道、大内正博、上田英樹

開催日	会場	テーマ	担当
11月5日(水) 19:00~20:30	四季の森生涯学習センター 東館1階 大会議室	地域の未来を担う人 育て守るためには…。	1班
11月7日(金) 19:00~20:30	ハートピアセンター 多目的ホール	丹波篠山の農業の未来像 ~5年後の農業はどうなる?(今取り組むべき課題は)~	3班
11月10日(月) 19:00~20:30	城東公民館 2階 第1研修室	自治会・まちづくり協議会の現在・過去・未来 ~持続可能な活動に向けて~	2班

☆カーテン ☆クロス  
 ☆カーペット ☆クッションフロアー  
 ☆ローマンシェード ☆手すり取り付け  
 ☆ブラインド ☆システムキッチン  
 ☆ロールスクリーン ☆リフォーム工事

**センスアップ 改装を ご希望なら**

**アオキ装飾工芸**

丹波篠山市瀬利1093  
Tel 079-552-0506  
Fax 079-552-6335

住宅リフォーム 事業団体 国土交通大臣登録  
 日装連リフォーム推進協議会会員 住宅リフォームエキスパート(増改築相談員961024号) **アオキ装飾工芸** 検索

総合防犯設備士資格 保有  
 防犯設備の施工・点検承ります

「まごころと技術で奉仕する」

**オカダ電工**

☎079-552-5243(代)  
 〒669-2307 丹波篠山市般若寺189 FAX.079-552-5543

あなたの家の防犯対策 万全ですか?



### 保育園・こども園入所手続きの負担軽減等について



**問 丹波篠山市は、現在、待機児童はゼロであるが、保育児童の数は90名となっている。90名の児童が保育園・こども園に入所できず、保護者が困っている状況にあるため、早急に改善策を講じる必要がある。**

**解決策としてDX及びAIを活用し、オンライン申請や24時間チャットなどが利用できるようになれば、よりスムーズに空き状況の確認や質問などができ、保護者の負担が軽減できると考える。また、事務作業のスピードアップにより対面対応を希望する市民に寄り添う対応ができるのではないかと考えるがどうか。**

入所調整は職員の手作業で行っており、利用調整基準に基づき、判定の公平性は確保している。今後、申請者の負担軽減及び業務時間削減のため、保育園・こども園の入所手続きについて、オンライン申請を導入し、手続きや事務作業の効率化を図っていきたい。

**保育士へは更なる支援が必要である。保育士確保に向けて専門サイトの開設や潜在保育士へライフステージに応じた情報提供等が必要であると考えがどうか。**

保育士確保や支援に関する取り組みとして、保育・教育就職支援フェアや園見学バスツアーを実施するなど、引き続き人材確保に取り組む。

保育士への支援策を拡充するためには、たくさんの子育て支援に係る事業がある中からどの事業を優先していくのか考える必要がある。まずは現在実施している保育士取得支援助成事業を引き続き実施していくとともに、現在、丹波篠山市の幼稚園・保育園・こども園で働く先生や将来勤務を希望される先生が働きやすい環境の整備に引き続き取り組んでいきたい。



### 1. 「こども誰でも通園制度」について 2. 加齢性難聴の早期発見と対応を



**問1 「こども誰でも通園制度」は子育て支援拡充策として提案されているが、制度の不備、拙速な進め方に不満も出ている。乳幼児の預かりには高い専門性が必要で、整えられた環境と経験、技術が求められる。**

**本格実施に向けて制度の整備が進められているところだが、取り組みの状況は。**

制度の実施に伴う現場への負担増大や更なる人手不足になる可能性がある。待機児童が発生することも危惧される。子どもの安全確保を大前提としつつ、人材確保と待機児童対策も合わせて考えながら実施していく必要がある。

現在は、制度にかかる条例等の制定、実施場所の選定、受け入れ人数、申し込み方法等について検討している。

**財源は、医療保険に上乗せされて徴収される。国民健康保険や後期高齢者医療保険制度への影響は。**

令和8年度は、被保険者一人当たり国民健康保険で平均月額250円(年間3,000円)、後期高齢者医療保険制度

で平均月額200円(年間2,400円)、保険料税と合わせて納付いただくことになる。

**問2 加齢性難聴は認知症の最大のリスクのひとつになっている。早く難聴に気づき、症状が進行する前に補聴器を使い始めることが重要だ。補聴器はとても高価なものであるため、購入助成制度の新設を求める。**

**また加齢性難聴は、本人は気づきにくい。市の基本健診に聴力検査を加えられないか。**

難聴と認知機能との関係は、一定の相関性が確認されているが研究中である。県内で購入助成をしている自治体は19市町であるが、事業の評価はこれからとなる。取り組みの効果や、市の事業の見直しの中で検討していきたい。聴力検査には、静かな環境や時間が必要で集団健診では難しい。

